

令和5年度釧路市立北中学校「学校評価『保護者アンケート』」

【結果分析】

4：している 3：どちらかといえばしている 2：あまりしていない 1：していない

	評 価 項 目	4	3	2	1
1	私は、子どもが自分のよさに気付くように働き掛けている。	21.4%	59.2%	18.4%	1.0%
2	私は、子どもが人（友達や家族など）の役に立つ喜びを実感できるように働き掛けている。	19.4%	62.1%	16.5%	2.0%
3	私は、子どもが人（友達や家族など）に優しい気持ちで接することができるように働き掛けている。	39.8%	52.4%	5.8%	2.0%
4	私は、子どもが人（先生や友達、家族など）の言うことを受け止めることができるように働き掛けている。	35.0%	59.2%	4.8%	1.0%
5	私は、子どもが「みんな違って当たり前」だと思えるように働き掛けている。	43.7%	45.6%	9.7%	1.0%
6	私は、子どもが自分らしさを大切にできるように働き掛けている。	42.7%	44.7%	10.7%	1.9%
7	私は、子どもが人（先生や友達、家族など）のよい面を見付け、認めることができるよう働き掛けている。	27.2%	57.3%	14.6%	0.9%
8	私は、子どもが相手のことを考えて話したり、行動したりできるように働き掛けている。	40.8%	51.5%	5.7%	1.0%
9	私は、子どもが誰とでも話したり、協力したりできるように働き掛けている。	26.2%	55.3%	16.5%	2.0%
10	私は、子どもが人（先生や友達、家族など）に対して尊敬の気持ちをもつことができるように働き掛けている。	27.2%	51.5%	19.4%	1.9%
11	私は、子どもが何事も自分事として考えることができるように働き掛けている。	23.3%	55.3%	19.4%	2.0%
12	私は、子どもが自分の考えをもつとき、理由も一緒に考えることができるように働き掛けている。	17.5%	56.3%	23.3%	2.9%
13	私は、子どもが人（先生や友達、家族など）に頼らずに考えることができるように働き掛けている。	15.5%	53.4%	28.2%	2.9%
14	私は、子どもが辛かったり嫌だったりすることを率先して取り組むことができるように働き掛けている。	16.5%	55.3%	24.3%	3.9%
15	私は、子どもが自分の考えを、自分の言葉で伝えることができるように働き掛けている。	34.0%	54.4%	10.7%	0.9%
16	私は、子どもが相手の立場を考えて、自分の考えを伝えることができるように働き掛けている。	22.3%	58.3%	17.5%	1.9%
17	私は、子どもが相手の考えを尊重して聞くことができるように働き掛けている。	21.4%	60.2%	15.5%	2.9%
18	私は、子どもが自分の役割を、責任をもって果たすことができるように働き掛けている。	38.8%	52.4%	7.8%	1.0%

19	私は、子どもが自分のために意欲的に授業や学校行事に臨むことができるように働き掛けている。	29.1%	50.5%	19.4%	1.0%
20	私は、子どもが授業等で分からないことがあったとき、自分で調べたり、先生や友達に聞いたりできるように働き掛けている。	32.0%	50.5%	16.5%	1.0%
21	私は、子どもが自分で計画して家庭学習に取り組むことができるように働き掛けている。	16.5%	49.5%	31.1%	2.9%
22	私は、子どもが困難なことでも、諦めることなく取り組むことができるように働き掛けている。	24.3%	57.3%	15.5%	2.9%
23	私は、子どもが目標の実現のために、粘り強く取り組むことができるように働き掛けている。	22.3%	55.3%	21.4%	1.0%
24	学校は、生徒たちが未来社会の創り手となる資質・能力を獲得するための授業を行っている。	15.5%	70.9%	11.7%	1.9%
25	学校は、生徒たち一人一人の学習の状況に寄り添った学びを保障している。	21.4%	56.3%	18.4%	3.9%
26	学校は、いじめなどの問題行動に毅然として対応している。	18.4%	61.2%	18.4%	2.0%
27	学校は、保護者に対して各種情報を積極的に発信している。	27.2%	54.4%	14.6%	3.8%
28	学校は、生徒たちにとって安心・安全な場所になっている。	23.3%	59.2%	16.5%	1.0%

【学校改善のアイデア】

- 子どもや保護者は、多様な課題等を抱えることがあることから、当該の課題に対応した教職員に相談できる体制を整備する。
- 保護者が学校づくりに関わる機会を意図的に設定する。
- 教員同士で、日常的にどのような指導（学習指導、生徒指導、学級経営等）をしているのか交流する機会を設ける。そして、優れた実践については、学校として全体で取り組むようにする。
- よいことを認め合うことはもとより、課題についても指摘し合える教職員集団となる。
- 学力（認知能力）だけではなく、学びに向かう力や人間性（非認知能力）の大切さについて学ぶ機会を設ける。
- 特別支援教育の本質について学ぶ機会を設ける。

【改善の方向性】

- 21 子どもたちが社会の主役になる 2040 年代の状況について、保護者として理解し、子どもに伝えていく必要があります。また、日常生活において、保護者が自己調整力を発揮して様々な課題を解決している姿を意図的に示すようにします。

※「番号」については、質問項目を示しています。